

地域包括ケアの地区展開の実施状況と今後の取組みについて

(付議の要旨)

地域包括ケアの地区展開について、砧地区モデル事業の実施状況と今後の取組みについて報告する。

1 . 主旨

区では、出張所・まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会の三者が連携しながら、身近な地区における相談支援の強化や地域資源の開発等に取り組む、地域包括ケアの地区展開を推進している。

平成 26 年 10 月から開始した砧地区モデル事業の実施状況と今後の取組み等について報告する。

地域資源：地域の課題を解決するために活用される物的、人的資源を総称したもので、地域住民（団体、事業者、NPO 等）の主体的な活動や取り組み、事業、人材、ネットワークなど幅広いものを意味している。

2 . 砧地区モデル事業の実施状況

資料 砧地区モデル事業の実施状況（10 月、11 月）参照

3 . 平成 27 年度のモデル事業の拡大に向けての取組み

(1) 相談支援の強化

砧地区モデル事業の状況を踏まえた相談支援に関する研修プログラムを検討し、あんしんすこやかセンター職員が相談支援に的確に対応していくための研修等を平成 27 年 4 月から実施する。また、関係所管の職員を対象とした研修も併せて実施する。

砧地区モデル事業で作成した相談支援マニュアルをもとに、各地域で統一的な対応ができるようマニュアルの充実を図り、平成 27 年度のモデル事業の実施に役立てる。

複合した問題や高齢・障害・子ども等の課題に適切に対応できるよう、総合支所保健福祉 3 課のバックアップの強化や関係機関（地域障害者相談支援センター、子ども家庭支援センター等）、事業者、地域の活動団体等との連携の強化を図るとともに、高齢・障害・子ども等の分野における包括的・継続的ケアマネジメントの推進を図る。

各地域の特性等を踏まえて地域ケア会議の構築に取り組み、地域ケア会議での事例検討の積み重ね等によるケアマネジメント力の向上や地域課題の把握から解決に向けた取組みを行う。

あんしんすこやかセンターが、障害者や子ども等への適切な相談対応やアセスメントを行うことができるよう、相談者の世帯構成や相談履歴、受給している制度、サービス等の区が持つ情報の共有について、個人情報保護等に留意しながら検討する。併せて相談記録等の電子化等、事務の効率化の検討も行う。

プライバシー保護や相談の効率性等の視点から、カウンターや待合スペース、相談室、事務スペース等のハード面について検証を行う。

（２）地域資源の開発

出張所・まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会の三者が、それぞれが持つ地域づくりのノウハウや地域資源等を共有し、連携することにより地域づくりの力を向上させ、地区の課題を地区で解決する仕組みづくりを進める。

町会・自治会をはじめとする地域活動団体、NPO、事業者、これまで活動に参加していなかった区民なども含めた地域コミュニティの強化・活性化や、地域の様々な活動との連携、ネットワークの拡大を図っていく。

「地域保健医療福祉総合計画」や「第 6 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」などの計画において、重要な取組みとしている地域資源の開発を、地域包括ケアの地区展開の中で具体化を図り、推進する。

社会福祉協議会は、平成 28 年度より実施予定の介護保険制度の生活支援サービスに結びつく、地域資源の開発を一体的に実施することにより、効果的な事業展開を図る。

地域包括ケアの地区展開においては、地域資源開発は重要な取組みとして、区の方針のもとで推進する必要があることや、個人情報の共有及び保護徹底を図る観点も鑑みて、当該事業については社会福祉協議会の補助事業から区の委託事業に転換する。

4 . 推進体制の強化

三者連携会議：まちづくりセンターが中心となり、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会等との情報共有や課題整理等を行う。

地域包括ケア総合支所連絡会：総合支所の取り組み状況の共有や課題整理、職員研修やマニュアル作成等の調整確認を行う。

地域包括ケア地区展開連絡会議：保健福祉領域や総合支所、その他の関係所管で情報共有や課題整理等を行う。

5 . モデル事業の検証と全地区展開

平成 27 年 5 月に砧地区モデル事業の検証を行うとともに、7 月より 5 地区においてモデル事業を実施（砧は継続実施）する。

平成 26、27 年度のモデル事業の検証を踏まえ、平成 28 年度の全地区展開を行う。（あんしんすこやかセンターや社会福祉協議会の人材の確保・育成を円滑に行う観点から、7 月からの実施を予定）

6 . 平成 27 年度概算経費（拡充分）

（ 1 ）相談支援の強化（あんしんすこやかセンター）

歳出合計 34,333 千円 うち特定財源 0 千円

（ 2 ）地域資源の開発（社会福祉協議会）

歳出合計 48,363 千円 うち特定財源 12,184 千円

補助事業から委託事業への転換に伴い、本事業に従事する担当職員の人件費については、これまで充当していた本部運営補助金等を減額調整し、委託料において対応する。

7 . 今後のスケジュール（予定）

平成 27 年 2 月 3、4 日	2 常任委員会（区民生活、福祉保健合わせ）報告
5 月	2 常任委員会報告（砧地区モデル事業の検証結果及び平成 27 年度以降の取組み）
7 月～	5 地区モデル事業実施（池尻、松沢、用賀、砧（継続）上北沢）
9 月	2 常任委員会報告（平成 28 年度の地区展開方法）
平成 28 年 7 月	区内全地区において実施

砧地区モデル事業の実施状況（10 月、11 月）について

1. モデル事業の取組み経過

平成 26 年 3 月	勉強会の実施
平成 26 年 4 月	モデル事業の事業スキームの設定、検討体制の確立、 相談マニュアルの作成
平成 26 年 7～8 月	あんしんすこやかセンター職員研修 先進自治体（千葉県中核地域生活支援センター）への視察
平成 26 年 10 月	モデル事業開始

2. 開始後の相談実績（10 月、11 月分）等

（1）相談実績

砧まちづくりセンター	: 3 頁参照
あんしんすこやかセンター	: 4 頁参照
社会福祉協議会	: 4 頁参照

（2）相談結果

砧あんしんすこやかセンターに相談があった事例 17 件中、
あんしんすこやかセンターが情報提供し、終了した事例 2 件
既にケアマネが対応中であることが分かり、ケアマネ支援をして終了した事例（3 件）
関係機関に繋ぎ、あんしんすこやかセンターの対応が終了となった事例（1 件）計 4 件
総合支所の保健福祉 3 課が中心となって対応するが、引き続き、あんしんすこやかセン
ターも見守っている事例 11 件

（3）相談事例

まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会の三者が一体整備さ
れたことによる迅速な連携事例

- まちづくりセンターに、困りごと相談に来所した高齢者が、社会福祉協議会のふれあ
いサービスに迅速に結びついた。
- あんしんすこやかセンターに、義母が好きな書道や手工芸ができる通所先の相談があり
迅速に社会福祉協議会につなぎ、ミニデイ活動グループを紹介して喜ばれた。

難病と親の介護、生活困窮と子育ての悩みなど、複合的な問題について、適切な相談支援へ
円滑につなぐことができた事例

- あんしんすこやかセンターに、80 代の親がこれまでどこに相談に行けばよいのか分から
なかった 50 代の閉じこもりの息子の相談に来所した。保健福祉 3 課で対応を検討し、息
子については、健康づくり課の保健師が訪問することになり、今後は家族単位で支援して
いく。

(4) 三者連携会議

三者連携会議において、それぞれの実績報告を行うとともに、課題を共有し、総合支所連絡会や地域保健医療福祉総合計画調整部会へ提供する情報の調整を行うモデル事業検討会を毎月実施している。

3. 取組み内容

(1) 相談支援の強化

あんしんすこやかセンターでは、職員を増員するとともに、研修や障害者を支援する事業所の見学・実習等を行った上で、区が作成した相談マニュアルをもとに、障害者や子育て家庭等に対する相談支援に取り組んでいる。

あんしんすこやかセンターでは、10月以降、これまでの相談者である高齢者を中心に、同居家族の精神疾患や障害、生活困窮等に関する相談があり、総合支所等と連携しながら支援を行っている。

あんしんすこやかセンターだけでは対応できない相談事例に対しては、相談のつなぎ方のルールや方法について総合支所の保健福祉3課で検討し、10月以降はあんしんすこやかセンターも参加して、実践中である。

三者が連携することにより、まちづくりセンターの困りごと相談から速やかに社会福祉協議会のふれあいサービスに結びつけたり、あんしんすこやかセンターの相談から、まちづくりセンターの対応（地域の施設や団体の案内・紹介等）につなげたりするなど、区民の利便性の向上に寄与している。

(2) 地域資源の開発

モデル事業開始前に、三者が情報共有を図りながら「砧地区アセスメントミーティング検討資料」を作成し、地区における課題等をまとめた。

モデル事業開始後は、まちづくりセンターが中心となって三者による連携会議を定期的に行い、地域課題に対する取組みの方策の検討を開始している。今後は地区情報連絡会などを活用し、地域住民とも課題を共有し、連携して解決に向け取り組む。

社会福祉協議会では、地区内の団体や施設等にヒアリングを行い、各々が抱える課題の把握に努めた。今後は、各団体等に呼びかけ、ワークショップを開催し、顔の見える関係を構築するとともに、団体として課題に対し何ができるか等の意見交換や整理を行う予定である。それらを通じ、地区での場づくりや人材育成につなげていく。

また、地区内のサロンを訪問するなど、区民や地域の活動団体等と顔の見える関係づくりを進めている。平成26年12月からは、地区の協力者等に、地区のイベントや地域福祉推進にかかる情報を配信している。

4. 砧まちづくりセンターの取組み

(1) 相談実績(10～11月) 相談件数 (単位:件)

相談内容	合計
1. 日常の相談(放置自転車、ごみ、鳥、猫、犬等)	37
2. 福祉・高齢者に関する相談 注)1	28
3. 子育て関係 注)2	8
4. まちづくり(ハードを含む)	4
5. その他(道案内、施設案内等)	84
合計	161

あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会との連携した相談は含んでいない。

注)1 福祉・高齢者に関する相談・・・予防接種、公衆浴場、シルバーパス、高額医療に関すること等

注)2 子育て関係の相談・・・予防接種、保育園入園、子どものサークル活動等

まちづくりセンターでの相談に対する対応

・・・資料の配布、児童館等の施設や地域の活動団体等の案内、相談担当所管課の紹介等

(2) 三者連携会議について

まちづくりセンターが中心となり、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会等と情報共有や課題整理等を行うために開催する。

回	日程	参加者	主な議題
第1回	10月27日	まちづくりセンター あんしんすこやかセンター 社会福祉協議会 砧生活支援課、保健福祉課 健康づくり課	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の会議への参加について ・アセスメントミーティングの振り返り ・情報交換(相談状況、行事、協力要請等) ・今後の会議内容、課題整理・対応 ・中長期スケジュール ・モデル事業の検証方法、報告について
第2回	11月25日	まちづくりセンター あんしんすこやかセンター 社会福祉協議会 生活支援課、健康づくり課	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換(相談状況、事業予定と協力要請) ・課題整理・対応 ・現況把握、実施計画についての検討
第3回	12月22日	まちづくりセンター あんしんすこやかセンター 社会福祉協議会 生活支援課、保健福祉課 健康づくり課	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換(相談状況、事業予定と協力要請) ・課題整理・対応 ・現況把握、実施計画についての検討 ・PRについて

5. 砧あんしんすこやかセンターの相談実績（10～11月）

(1) 相談件数 (単位: 件) (2) 相談内容別 (単位: 件)

		合計
相談件数(延数)		1,058
内 モデル事業件数	延数	57
	実数	17

	合計
母子保健	3
障害	11
精神保健	10
難病・健康づくり	3
生活困窮	17
子育て家庭	5
その他	11
合計	60

複数回答あり

(3) 相談結果 【実数(平成26年10～11月の新規相談者)】

あんすこ 単独終結	あんすこ 単独継続中	関係機関へ 繋ぎ 終了	関係機関へ 繋ぎ継続中	合計
2	0	4(2)	11(10)	17(12)

()・・・実数の内、既にあんしんすこやかセンターや保健福祉3課で把握していた事例数

6. 社会福祉協議会の相談実績等(10～11月)

(1) 相談件数 (単位: 件) (2) 相談内容別(延数)(単位: 件)

	合計
相談件数総数	79

	合計
高齢者	11
障害者	3
地区社協	17
サロン・ミニデイ	18
ふれあいサービス	14
その他	16
合計	79

(3) 地区内福祉活動団体の調査

【調査実績】 43団体

- (内訳)・高齢者施設 11団体
- ・障害者施設 8団体
- ・保育園・学校 3団体
- ・サロン・ミニデイ 4団体
- ・NPO 9団体
- ・その他 8団体